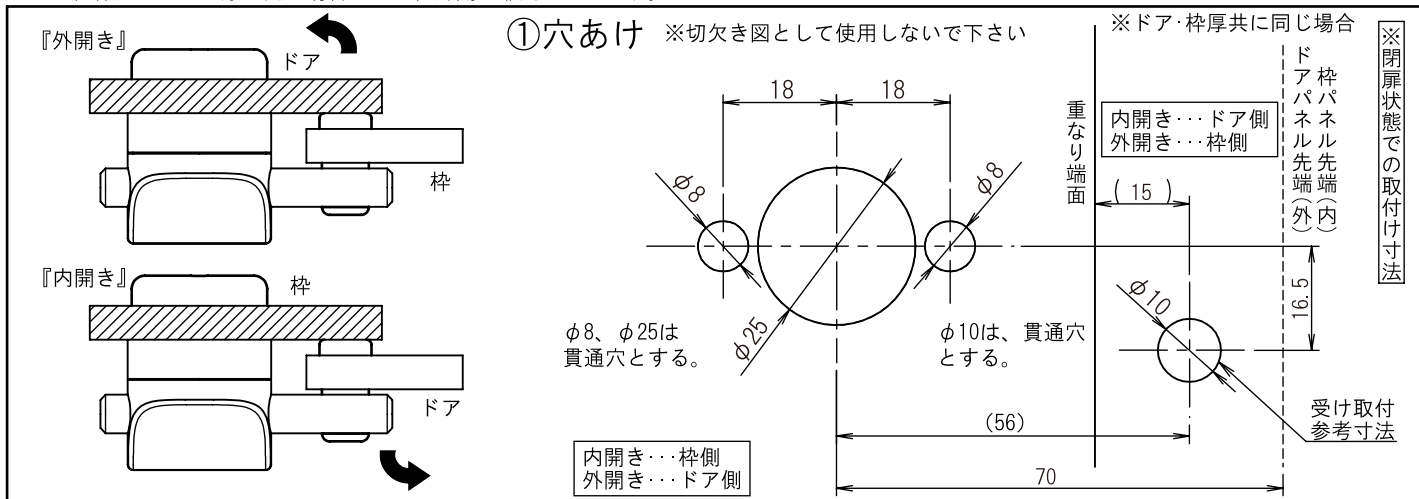


※ドア、枠共にパネル厚が同じ場合のみ内、外開き兼用となります。



②本体取付け

- ① (A) ツマミ側組立品と(E) ベーススペーサー (t 1.5) を室内側より取付け穴に入れます。
- ② (B) 表示ベースと(A) ツマミ側組立品の芯を合わせ、(C) スタット呼び込みねじで取付けます。

・芯に注意して取付けて下さい。作動不良の原因となります。
・高速で締め込むとねじのカジリが発生します。
・ねじは手回しで、しっかり締め付けて下さい。

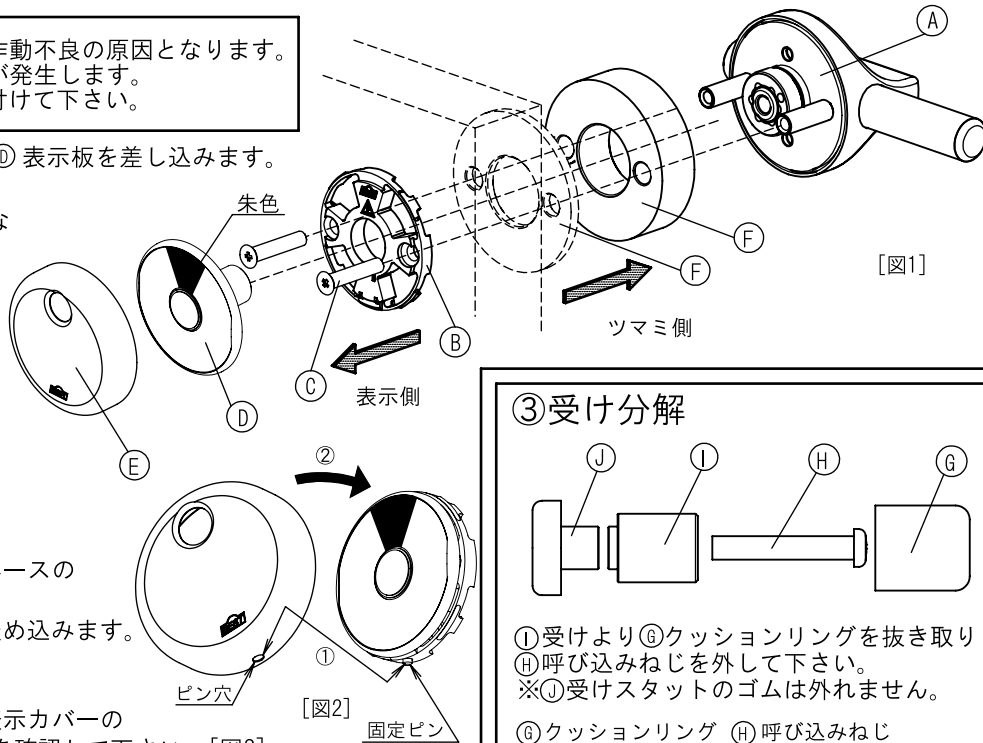
- ③ ツマミが施錠時、朱色を示す様に (D) 表示板を差し込みます。
[図1]

※取付けるパネル厚に合わせ、必要なベーススペーサーを入れます。

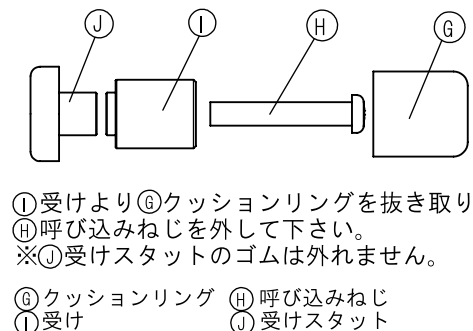
- (A) ツマミ側組立品
- (B) 表示ベース
- (C) スタット呼び込みねじ
- (D) 表示板
- (E) 表示カバー
- (F) ベーススペーサー (t 1.5, t 3.5)
※ t 1.5はオプションとなります。

- ④ (E) 表示カバーのピン穴に(B) 表示ベースの固定ピンを差し込みます。
- ⑤ (E) 表示カバーを(B) 表示ベースに嵌め込みます。

⚠ (B) 表示ベースの固定ピンは、(E) 表示カバーの穴にしっかりとハマっている事を確認して下さい。 [図2]

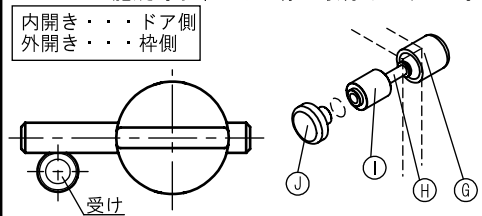


③受け分解



④受け取付け

- ① 受けスタットを室外側より取付け穴に入れ
 - ③と、逆の順で(J) 受けスタットを(H) 呼び込みねじで、呼び込んでください。
 - 最後に(G) クッションリングを(I) 受けに押し込み確実に取付けて下さい。
- ※レバーが施錠時水平になる様に取付けて下さい。



⑤作動確認

- ① 打掛、表示器及び受けにガタつきが無い事。
 - ② レバーが上向き、下向きの際止まる事。
 - ③ 打掛を施錠した際、レバーが水平位置で表示は朱色を示す事。
-

⑥非常解操作

- ① ボールペンの先等でピンを止るまで押し上げる。
 - ② そのままの状態にて(E) 表示カバーを手前に引き外す。
 - ③ (D) 表示板を持ち施錠方向とは逆に90°回転させる。
-